

1. 事業の方針

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

(1) 豊かな鑑賞活動をめざそう

鑑賞例会について、県内でまとまって作品を企画する傾向が年々強まり、新しい作品を観ることによる企画が難しくなる中、充分とはいえないまでもかなり質の高い作品を企画することができた。しかし、参加者数が、予定数をかなり下回ったことは今後の検討課題である。また、当日の取り組みも担当したブロックがそれぞれの個性を発揮し楽しい取り組みをした。今年からはじめた観賞後の劇団との交流は、豊かな鑑賞のためにとっても有効であり定着化をはかりたい。

8回目を迎えたフェスティバルは、3ステージを取り組んだ。また、近郊市町村にも紹介し6ステージが取り組まれた。

今後は、鑑賞事業全体の流れをふまえた企画、取り組みをしていくことが必要である。

(2) 子どもの権利条約の啓発につとめよう

子どもセンターおやこニュース紙上において、毎月計12回「子どもの権利条約を知ろう」シリーズを掲載、個人個人が関心を高めていくことが必要である。

(3) 人の集まる、人から頼りにされる「菫子どもセンター」になろう

「ごあんない」パンフレットや鑑賞例会チラシで、子どもセンターの活動を広くアピールする。これからも、子どもセンターの活動の理解者を広げるためのより有効な広報活動をする必要がある。また、子どもも大人も年々忙しくなっている状況の中で、ネットワークの拡大をどうはかるかが課題である。

(4) 中ホール建設を呼びかけよう

中ホール建設について、具体的には呼びかけをはかれなかったが、他の鑑賞会などに参加していろいろなホールの状況を知る機会を持った。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	備考
舞台鑑賞事業	鑑賞例会 ・空中芸・大道芸（むごん劇かんぱにい） 新緑を背景に繰り上げられる空中芸は、迫力満点、またコミカルに繰り出す大道芸に飛び入り参加もあり、楽しい例会となった。 日曜日の開催ということで、親子連れがた	5月16日 14:30～	石彫公園	4歳以上大人まで 参加 370人
		9月28日	椿東小学校	

	<p>くさん見られた。</p> <p>・竜のとぶ冬 (劇団 風の子九州)</p> <p>「悠久の自然の営みの中では、私たち人間もその一部、決して驕り高ぶってはいけない」と言う少し難しいテーマにもかかわらず、美しい効果音や変幻自在の小道具に思わず子どもも身を乗り出した。役者の熱演や、本物のススキを飾った会場作りなどが一体となって、すばらしい鑑賞会となった。</p> <p>・お祭りミュージカル ヤンタの宝物わらび座)</p> <p>わらび座ならではの歌と踊りに、いつの間にか不思議な妖精の世界に入り込んでヤンタと一緒に冒険を楽しんだ。キーボードや太鼓などの生演奏と躍動感あふれる踊りに、夢と感動を届けられた。</p> <p>・玉木孝司コンサート</p> <p>ビブラフォン・ドリーム (センター・プロ)</p> <p>夢のようにきらめくビブラフォンの音の世界に大人も子どももとつぷりと浸かって、心がいやされるすばらしい舞台だった。子どもたちも積極的に演奏に参加し、楽しめる場面もあった。</p>	18:30～	体育館	参加 290人
		12月16日 18:30～	萩市民館 大ホール	参加 425人
		平成12年 3月22日 18:30～	萩市民館 大ホール	参加 248人
	<p>子ども舞台芸術小公演 (フェスティバル)</p> <p>ストリンググラフィィ・アンサンブル (スタジオ・イブ)</p> <p>紙コップに糸を張って音を出す、発想の意外さ以上に音楽性の高さに驚かされた。天候の悪い中、会場はたくさんの感動に包まれた。しかし、観る態勢やたくさんの人に伝える方法に課題は残る。</p>	7月2日 16:00～ 19:00～	有備館	4歳以上大人まで
		7月3日 19:00～	椿東小学校	参加延べ567人
子どもの諸活動支援事業	<p>高学年活動</p> <p>・スポーツ交流会</p> <p>4年生以上の子どもを対象に月1回の交流会の企画、実施。(毎月第3土曜日)</p> <p>・田床山で遊ぼう</p> <p>新4年生の歓迎会をかねて、田床山に登って交流する。</p> <p>異年齢での遊びや交流の場の体験の少ない最近の子どもたちに交流の場の提供の大切さを感じた。</p>	年10回	明倫小学校 体育館	参加延べ138人
		4月29日	田床山	参加28人
	<p>出発地球号～子どもの国際交流～</p> <p>21世紀を担う子どもたちが異文化を体験、交流することによって国際的な視野を</p>			

	<p>広げることを目的に開催する。単年度の終わらず続けることで、子どもたちの視野が広がる。萩国際大学の方やAET、一般のたくさんの方たちの協力を得て子どもを育てるネットワークの重要性を認識した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア発見クッキング <ul style="list-style-type: none"> バングラデシュ 5月29日 中国 9月23日 韓国 10月8日 ・手作り楽器ワークショップ 1回 7月17・18日 ・デコレーションづくり 10月23日 ・出発地球号～大交流会 1回 10月31日 	<p>萩市民館 萩市民館 土原老人憩いの家 サンライフ萩 椿東小学校 田町商店街</p>	<p>参加延べ238人</p>
	<p>大道芸まつり</p> <p>鑑賞例会を盛り上げ、子どもたちの生き生きした表現活動の場として、1輪車乗りやダンスなどの披露、また出店でまつりの雰囲気盛り上げた。事前の練習や準備が大変だったが、当日はよいお天気で、まつりを十分楽しめた。</p>	<p>5月16日</p> <p>石彫公園</p>	<p>参加約500人</p>
	<p>サマーキャンプ</p> <p>恒例のサマーキャンプを開催、異年齢交流の体験の場となった。子どもセンターならではの企画のキャンプを企画してゆくことも大切。</p> <p>※ 山口・萩中高生交流キャンプ 高校生による企画実施、大人はサポート</p>	<p>8月9～10日</p> <p>5月2～3日</p> <p>萩青年の家 おこぜの里</p>	<p>参加20人</p> <p>参加25人 (萩9人)</p>
子育て支援事業	<p>ピヨピヨの会</p> <p>0歳児から就園未満児までの親子を対象に遊びの広場、学習会、交流の場を提供。乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションをはかる。月2回、自由遊びと企画会を組み合わせ定例化。毎月続けることによって、参加者同士のネットワークが広がりを見せた。また、交流の場を求める声も多く聞き、会の役割の重要性を認識した。</p>	<p>年14回</p> <p>萩総合福祉センターほか</p>	<p>未就園児と保護者 参加延べ334世帯</p>
子どもと文化に関する活動支援事業	<p>自主的影絵集団「べっぴんしゃん」による学校ほか施設の訪問公演(無料)の支援</p>	<p>年10回</p> <p>市内近郊の学校及び施設</p>	<p>従事延べ47人</p>
	<p>1999年さよならパーティー</p> <p>AETをゲストにクリスマスの飾り付けや料理を習ったり、外国の遊びを体験した。</p>	<p>12月11日</p> <p>萩市民館</p>	<p>参加34人</p>
	<p>地域のブロック、サークルの交流会支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椿東ブロック お正月会(1月)ブロック会(月1回) ・指月ブロック お茶の会(2月) ブロック会他 		

	<p>・中央ブロック お正月会（1月） ブロック会他</p>			
	<p>ストーリーテリング（お話の会） 実際に話してみても感想や意見を交換する勉強会を開催。</p>	年6回	萩市民館 第3和室 ほか	延べ30人
	<p>・おはなし会 一般の大人を対象に発表の場を開く。</p>	3月12日	サンライフ萩	参加者 17人
子どもと文化に関する啓発事業	<p>中ホールの建設を呼びかけ、他団体と連絡をとり、中ホール建設の働きかけをする機会がなかったが、他の舞台鑑賞に参加して、ホールの環境の大切さや、中ホールの必要性を改めて認識した。</p>	随時	近隣他団体	
子どもと文化に関する広報事業	<p>萩子どもセンターの広報活動（パンフレットの作成など） NPO学習会 NPOについて広く啓発するために、学習会を開催、講師は、秋本徹氏、河野康広氏。 山口NPOサポートネットワーク企画。</p>	12月18日	サンライフ萩	参加者18人
子どもの権利条約推進事業	<p>子どもの権利条約推進のため（子どもセンターニュース）などで 広報、啓発。</p>	ニュース 12回発行		